平成27年度 目標管理シート (部別組織目標)

部名 農林水産部 **部長名** 垣下 昭博

市長が示した「3つの基本理念」のうち「地域経済の浮揚」を実現するため、構造面では、担い手の育成確保、基幹作物の安定生産、農地活 組織目標 用の推進、優良農地の整備、また、経済面では、6次産業化の育成、地域特産物の推進、森林資源の活用、栽培漁業の育成など進めることに より、持続的農林水産業の推進、及び一次産業の所得向上を目指します。

重	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等				ー 中間レビュー (10月1日時点) 目標の達成状況(3月末時点見		次年度に向けて(引継ぎ事項)	
一点施策番号		①具体的目標(当該年度で、何を(どのような現状を)どのような状態にするのか) ②課題、特記事項等	具体的目標を達成するための 具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	・上半期(4月~9月)における進捗状況(活動 実績等) ・下半期(10月~3月)に向けた課題等	中 ・目標達成のために行った取組(活動実績 等) ・その取組による効果(達成できなかった事由 、理由等)	①具体的目標(次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか) を ②課題、特記事項等	
農林水	担い手の育成・確 保 4-1-1	農家の高齢化が進む中、農業が持続的に発展するために、将来の担い手である新規就農者の育成・確保、及び現在の担い手農家(認定農業者)の経営改善を目指す。	確 る。 ・事業の周知 ・要望者への受給要件等の説明 ・青年等就農計画の申請・認定 ・給付金受給申請 ・給付後のフォローアップ 認定農業者のレベルアップのため、各種研修会を実施する。・農業簿記研修会 ・先進地視察 ・税制講座				①具体的目標	
一		② 国際競争や国内競争が、今後、ますます激化するなか、これまでの作れば売れる時代から将来を見据えたビジョンを持った農業経営を習得する必要がある。 特記事項					②課題・特記事項等	
農林水産部②	基幹作物の安定生 産	本市の施設園芸と並ぶ基幹作物であるイグサを再生するため後継者育成や規模拡大、品質向上など課題を抽出し、中長期的なアクションプランを策定する。	アクションプラン策定は、熊本県いぐさ・畳表活性化協議会を中心に作成する。 〇5月までにアクションプラン骨子作成 〇9月に農林水産省へ中間報告 〇11月に若手生産者及び担い手農家への意識調査 〇3月に農林水産省へ提出				①具体的目標	
	4-1-1	② アクションプランの策定にあたっては、熊本県全体に係る計画であり県、氷川町、農業団体との連携が必要である。 特記事項等					②課題・特記事項等	

重		今年度取り組む重点施策とその	その具体的目標等		中間レビュー(10月1日時点)	目標の達成状況(3月末時点見込)	次年度に向けて(引継ぎ事項)
点施策番号		①具体的目標(当該年度で、何を(どのような現状を)どのような状態にするのか) ②課題、特記事項等	具体的目標を達成するための 具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	・上半期(4月~9月)における進捗状況(活動 実績等) ・下半期(10月~3月)に向けた課題等	2 等)	①具体的目標(次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか) ②課題、特記事項等
農林水産	農地活用の推進	・農地中間管理事業 50ha	農地中間管理事業による担い手農家への農地集積を推進す				①具体的目標
選 3		② 課題 、 特記 事					② 課題 · 特記 事
	4-1-1	等					項
農林水産部	優良農地の保全・ 管理	神 農家への農地集積という構造改革を後押しずる。 的 新たな対象範囲として1,100ha分の組織づくりを目指 す。 ・平成27年度実施面積 2,781ha(43%) ・平成28年度実施予定面積 3,881ha(60%)	非農家の参加が得られないところは、農業者だけの参加で活動可能な、農地維持活動と長寿命化を軸として、先ずは農業者だけの組織作りから活動を始める。				① 具体的目標
4	4-1-1	世域にとって事業制度の理解と周知不足が要因と なり範囲拡大が進まない状況にある。 活動内容に農家と非農家の参加が必要な項目があ るため組織をどうまとめるかがカギである。 事項 等					課題・特記事項等
農林水産	フードパレーの推 進	(直商品の開発」、「新たなビジネスの創出」などの事業を展開することにより農林水産業の所得の向上・新たな雇用の創出を目指す。 (1) ・八代港からの海外輸出品 5品目で中食・外食産業への新規成約額 3,000万円・新商品開発 5品目	八代港を活用した農林水産物の輸出を促進するため、台湾における「八代フェア(仮称)」の開催、輸出パッケージの開発、リーファーコンテナの利用促進を実施する。 国内販路の拡大を図るため、中食、外食産業と本市農産物のマッチングを行う。またコンビニエンスストア、スーパーマーケットなどで八代フェアを開催し、本市農林水産物等のPRを行う。 6次産業化・農商工連携の推進を図るため、くまもと県南フードバレーと連携し、商品開発及び販路開拓を行う。				①具体的目標
産 部 ⑤	4-2-4	② 課題 ・事業をより効果的に実施するために、県南フードバレーとの連携を密にする。 ・アグリビジネスセンターを積極的に活用する。 ・事業希望者への情報提供を積極的に行う。 ・フォローアップを徹底する。					② 課題 · 特記 事項 等

重	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等				中間レビュー(10月1日時点)	目標の達成状況(3月末時点見込)	次年度に向けて(引継ぎ事項)
主点施策番号	重点施策施策の体系	①具体的目標(当該年度で、何を(どのような現状を)どのような状態にするのか) ②課題、特記事項等	具体的目標を達成するための 具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	・上半期(4月~9月)における進捗状況(活動 実績等) ・下半期(10月~3月)に向けた課題等	* 等)	①具体的目標(次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか) ②課題、特記事項等
農林水産部⑥	地域特産物の育成	でさ、露地野菜などが基幹作物として定着している が、中山間地域においては、農業所得を得る作物が 見に着していない状況であるため、新規作物の導入・ 定着及び規模拡大を目指す。 的 目標に表していない状況であるため、新規作物の導入・ 進進	泉地区で柚子の管理防除の共同作業化を図り、品質と収量の 向上を図り、販路拡大を進めます。 生姜の収穫機械導入により作業の省力化を図り、規模拡大を 進めます。 坂本地区に、アスパラ栽培を試験導入し、新たな作物としての 官着化を進めます。				①具体的目標
		② 課題 中山間地域は限界集落が多く点在し、平野部に比べ、担い手の高齢化が急速に進んでいる状況にある。また、販売先の確保が出来ていないなど多くの課題がある。					② 課題 · 特記 事項
	4-1-1	等 					等
農林水産部⑦	森林資源の活用	ジェクト」事業に取り組むことにより、これまで放置さずれていた間伐材などの林地残材を買い取りすることにより林業の所得向上及び活性化を目指す。また、その木材を木質バイオマス燃料に活用することにより、地域循環型のエネルギー体制を確立する。	八代市木の駅プロジェクトを八代市森林組合の敷地内に設置 する。 〇5月まで関係者へ事業の周知を図る。 〇5月までもり券(商品券)の発行及び加盟店の募集を行う。 〇7月から集荷を開始する。				① 具 体 的 目 標
· 部 ⑦	4-1-2	② 課題 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **					② 課題· 特記 事項 等
農林水産部8	栽培漁業の育成 4-1-3	「ケアシェル栽培」及び食害を防ぐ「被服網栽培」を ① モデル事業で漁業者に取り組んで頂くことにより、ア 具 サリ栽培漁業の定着を目指す。	県南広域本部水産課と共同でのアサリ生育調査を年2回、5月、 0月と必要に応じて実施する。 漁業者へ状況を報告し栽培方法の研修を行う。 食害対策としてナルトビエイの駆除を実施する。				①具体的目標
		② 課題 、					② 課題 ・ 特記 事項 等